

キャラクター名
風贄 紗々芽(カガニ ササ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン オルクス	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	カフェマスター兼カウンセラー
オプション		年齢	不明	性別	女
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	32 %
出自	政治権力	経験	被害者	邂逅	盟友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	2	1	0			3	戦闘移動	15
社会	3	0	0			3	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:UGN幹部		ロイス			
コネ:警察官		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
コネ:研究者		古代種 エンシントレネゲイド	P	N	
コネ:情報屋		アルフレッド・J・コードウェル	color:YE	P 遺志	N 隔意
コネ:傭兵		霧谷雄吾	color:GR	P 友情	N 不安
コネ:ハッカー		セティボス	P	興味	N 脅威
コネ:マスメディア			P		N
コネ:要人への貸し			P		N
			P		N
		最大財産P:	8	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
先手必勝	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 【行動値】+[LV*3] 基本侵蝕値+4								
エンジェルヴォイス	1	4	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 対象のC値-1(下限6) ガイス+LV								
導きの華	5	4	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 達成値+[LV*2] 購入判定無効								
要の陣形	3	3	Xジャー	-	3体	-	-	
効果: 対象を3体に リゾLV回								
限界突破	1	3	セット	至近	自身	自動	80	
効果: カット1回のEF1つを2回使用可 リゾLV回								
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: ダイス+LV 1ラウンド1回								
ウィンドブレス	2	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 要:《援護の風》 達成値+[LV*3]								
リザレクション	1	効参	インテグ	視界	単体	自動	DPイ	
効果: 対象の戦闘不能を回復 HP2D点回復 リゾ1回								
高濃度酸素バブル	1							
効果:								
不可視の領域	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

N市の路地裏でカフェ兼カウンセリングを営んでいる女性。
見た目は妙齢の美女で、不思議な雰囲気と見た目の若さにかかわらずとても大らかで落ち着き払っている。本能的にはカフェだけを経営しているのだが、そんな雰囲気や人柄に悩み相談をしていたらいつの間にかカウンセラーとしても噂されるようになった。本人は満更でもない模様。
路地裏にあるカフェなのに加え、本人が慎ましく経営したいのを常連客は知っているの、本当に知る人ぞ知る隠れ家的なカフェとなっていて、僅かな口伝で知られているのみである。

その正体は、古くから存在している"古代種"と呼ばれるオーヴァード。カフェが入っているテナントごと支部で、その支部長を勤めている。人があまりカフェを認知していないのはエフェクトの力。
いつから存在しているのかは本人から明言はないが、少なくとも100年以上前から存在している模様。UGNの創設者であるアルフレッド・J・コードウェルとは盟友の関係であったらしいが、現在はFHIに寝返ってしまった彼を止めたいと思っている。
UGN日本支部創立当初から日本で活動しているので、霧谷雄吾とは長年の友人。日本支部長となった彼の激務や生活、体調を心配して、こちらに来ることがあれば少しでも心が休まるようにととりとめのない会話をして、昔のように接している。